

天王森通信

2020年1・2・3月号 NO.105 発行 天王森泉公園運営委員会

《年の始めに》

【写真】by:風露草

外出時、外国語案内を見聞きすることが多くなりました。繁華街でも公共表示にアルファベットに加えて、中国語漢字表記やハングル文字を目にします。日本中が歓喜したラグビーワールドカップに続き、今年はTOKYO 2020オリンピック開催の年、日本中が国際色を増しつつあるのを肌で感じます。流石に天王森泉公園界隈にまではその波も押し寄せてはいないものの、海外からの来園者を迎える場面を想像してみるのも楽しいものです。皆様であれば天王森泉公園をどのように案内されるのでしょうか。やはりお気に入りの風景・文化歴史・自然環境から、何れかが中心となると思います。そうした公園の魅力は、季節・天候・場所などにより折々に変幻し、尽きることはありません。何度でも訪れ隈なく見渡したとしても新たな発見がある筈です。これは何、どうして?と、尋ねたいと思われたときには、遠慮なく公園ボランティアやスタッフにお声がけください。皆様の天王森魅力発見のお手伝いをいたします。更にじっくりと情報に接したいと思われた際には、公園ホームページにアクセスいただき閲覧いただくのも良いでしょう。残念ながら当公園のホームページは和色100%です。これがある日4カ国でリニューアル・・・そんな初夢に一喜一憂、私の新年はこのような幕開けで始まりました。さて、天王森泉公園一同の新年の抱負は「天王森泉公園を地域に愛される公園として発展させてゆくこと、もしや海外からの来園者にファンタスティックと感銘いただければそれは望外の喜びと申せましょう」そのような“天王森2020”の実現に向けて、本年も一同力を合わせて参ります。皆様には私達の活動に対し、これまでも増してご理解ご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

運営委員会会長 池原 正



天王森泉公園
ボランティア作

令和二年 吉日

明けましておめでどう
ございます

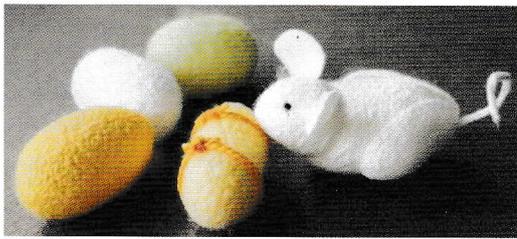
3月までの行事カレンダー 詳細はホームページを参照ください。	
	「百人一首 かるた遊び」 1月26日(日) 自由参加。
	「節分豆まき」 2月3日(月) 良い春(年)を迎える行事。
	「冬の野鳥観察会」 2月11日(火:祝日) 事前予約制
	「第13回吊るし雛展」 2月8日(土)～ 3月8日(日) 雛祭り祝いもちつき 2月23日(日)
	「しいたけの 菌駒打ち体験」 3月1日(日) 事前予約制 ほだ木販売

2020年は子年で、干支(えと)は「庚子」(かのえ・ね)です。子年は新しい運気のサイクルの始まりです。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。この公園の魅力を30年・50年先まで引継いでゆくため、今と未来に向けての活動を、来園者・地域・ボランティア・役所のご支援を戴きながら努めて参ります。今年も、皆様のご来園をお待ちすると同時に、行事への参加、ボランティアの体験等、私たちと一緒に楽しみませんか。私たちに声を掛けていただければ、喜んでご案内させていただきます。

天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennomori.net>



生糸づくりを学びました



天王森泉館は、昔は清水製糸場の本館でした。まゆ（繭）から生糸づくりに挑戦しました。ねずみ年のしめ飾りに、ねずみさんは白いまゆ、俵は黄金まゆで作成しました。まゆの色は自然の色で、蚕の種類によって色が変わります。

『お蕎麦如何ですか？』

そば同好会



日本3大蕎麦＝長野県・戸隠そば、
島根県・出雲そば、岩手県・梶子そば
年越しそば（節分そば）＝一般に年越しそばは
12月31日大晦日に食べる蕎麦のこと。

江戸時代後期には節分（旧暦大晦日）に
食べる蕎麦を年越しそばと呼んだ

蕎麦は健康に良いの？＝ルチン・ビタミンB2が豊富効能ありあり！
蕎麦と表示される割合＝そば粉30%以上・小麦粉70%以下配合品
（公正取引協議会・消費者庁告示）

市販蕎麦のラベル表示をよく見てお蕎麦の判断を！
本年も宜しく、諸事業にご協力賜りますようお願いいたします。

春の七草竹鉢づくり

天王森泉公園では10年前より、川崎の植物園で指導されていた飯村先生をお迎えして「春の七草竹鉢づくり」を開催しています。準備は9月から始まります。9月上旬普通の大さになるダイコンとカブの種子を、小さな2号ポットに蒔きます。募集は

20名ですが、失敗する可能性を考え40鉢以上はつくりまします。館の玄関先で育てるとポットに合った大きさのものができます。11月に入ると竹林から竹を切り出し、竹鉢を作り乾燥させておきます。

その頃、館前の稲刈りが終わった田んぼからセリ、ホトケノザ(コオニタビラコ)を、畑の周りからナズナ、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコベラを採集して2号ポットに植えつけます。体験日の数日前にはコケを採集して準備が整います。

講習会は初心者の方から毎年参加の方まで、2時間であっという間に過ごし、出来上がった七草鉢を嬉しそうにお持ち帰りになります。うまく育てれば4月頃には、花が咲き種子をつけるころまで楽しめます。

小学生のお子さんでも作ることができますので、次の機会にぜひ参加してください。 by:風露草

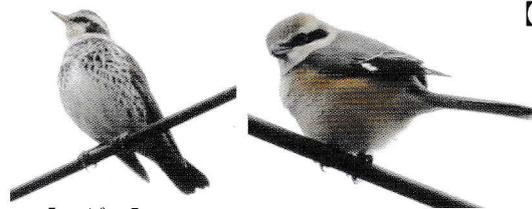


自然観察

成虫で越冬する昆虫はチョウ、カメムシ、テントウムシ、バッタなどいろいろありますが活動するということとは別で寒さを避けてじっとしていることが多いので観察できるのは非常に少ないです。冬の観察対象は野鳥ですね。わさび田ではキセキレイが常連。流れが少ない場所では小鳥たちが水浴びに訪れます。冬はエナガ、コゲラ、シジュウカラ、メジロ、ヤマガラなど数種の小鳥たちが一緒に移動する混群が見られます。そのため混群に出会えば一度に数種を見ることができますが、出会えないと今日は少ないねということになります。公園前の田畑ではモズ、ツグミ、カワラヒワ、ハイタカ、チョウゲンボウなどが見られます。境川遊水地公園ではカモの仲間、カイツブリ、バンなどクイナの仲間が見られます。これら水辺の鳥は見やすい場所にいるので初心者にも比較的観察できますのでこれから野鳥観察を始めようと考えておられる方は是非水辺の鳥の観察に挑戦してみてください。

【自然観察G】

倉川典夫



【ツグミ】

【モズ】

天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日（祝日は翌日）

年末・年始（12月29日～1月3日）

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付